

令和3年度 活動計算書

令和3年4月1日 から 令和4年4月31日 まで

特定非営利活動法人ロータス会

(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 事業収益			
(1) 介護事業収益			
訪問介護事業（札幌）収益	14,076,526		14,076,526
訪問介護事業（余市）収益	10,486,215		10,486,215
通所介護事業収益	13,257,080		13,257,080
グループホーム事業収益	80,026,704		80,026,704
(2) 高齢者居室賃貸事業収益	29,370,617		29,370,617
2 その他収益			
受取利息	409		409
受取配当金	239		239
雑収益	861,090		861,090
経常収益計	148,078,880		148,078,880
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	70,513,523		70,513,523
法定福利費	10,954,799		10,954,799
福利厚生費	339,569		339,569
人件費計	81,807,891		81,807,891
(2) その他経費			
水光熱費	9,016,789		9,016,789
通信交通費	1,222,523		1,222,523
支払保険料	1,056,312		1,056,312
事務消耗品費	1,377,782		1,377,782
リース料	603,840		603,840
修繕費	557,630		557,630
食材料費	11,199,868		11,199,868
備品費	247,320		247,320
車両費	579,806		579,806
その他	2,194,130		2,194,130
その他経費計	28,056,000		28,056,000
事業費計	109,863,891		109,863,891
2 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	6,000,000		6,000,000
給料手当	6,285,345		6,285,345
法定福利費	2,149,176		2,149,176
福利厚生費	31,415		31,415
人件費計	14,465,936		14,465,936
(2) その他経費			
事務消耗品費	629,151		629,151
支払保険料	723,008		723,008
支払手数料	383,828		383,828
租税公課	3,734,900		3,734,900
リース料	574,884		574,884
支払利息	5,139,465		5,139,465
減価償却費	8,614,900		8,614,900
車両経費	127,380		127,380

交際費	93,035		93,035
通信交通費	1,508,929		1,508,929
宣伝広告費			
水光熱費	205,244		205,244
新聞図書費	15,730		15,730
修繕維持費			
その他	750,354		750,354
その他経費計	22,500,808		22,500,808
管理費計	36,966,744		36,966,744
経常費用計	146,830,635		146,830,635
当期経常増減額	1,248,245		1,248,245
Ⅲ 経常外費用			
経理区分振替額			
法人税等充当額			
当期正味財産増減額	1,248,245		
前期繰越正味財産額			▲591,478
次期繰越正味財産額			656,767

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合で、その他の事業を実施していないときは、「その他の事業」欄の数字をすべてゼロとするか、5頁～6頁の書式例を使い、脚注に「※今年度はその他の事業を実施していません。」と明記する。
- 3 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する支出で、管理費以外のものをいい、当該事業の実施のために直接要する人件費、交通費等の費用が含まれる。)等が挙げられる。なお、事業報告書に記載している内容との整合性を図る。
- 4 特に、支出規模(事業費+管理費)でみた特定非営利活動に係る事業の割合、総支出額に占める管理費の割合等は、特定非営利活動を行うことを主たる目的とすること、営利を目的としないものであることという法定要件への適合性の判断材料となる。この点については、「北海道におけるNPO法の運用方針」(98頁)を参照のこと。
- 5 「経理区分振替額」には、その他の事業で得た利益の振替額を記入する。
- 6 「前期繰越正味財産額」は、前々事業年度末の「次期繰越正味財産額」と一致する。
- 7 「次期繰越正味財産額」は、貸借対照表の「正味財産合計」と一致する。